

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券
信託期間	2019年11月14日まで（2014年11月28日設定）
運用方針	<p>米ドル建ての債券（投資適格債券およびハイイールド債券）等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざします。投資対象国は、原則として、JPモルガンEMBIグローバル指数およびJPモルガンCEMBIブロード指数の構成国のうち、流動性等を勘案して投資可能と委託会社が判断した国とします。</p> <p>原則として、信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行います。</p> <p>組入れにあたっては、投資適格債券を中心とし、発行体の信用状況等を勘案しつつ利回りの高い銘柄に投資を行います。</p> <p>信託期間内に組入債券が償還した場合等には、米ドル建ての債券のほか、米国内債に再投資することがあります。そのため、米ドル建ての債券の組入比率が低下することがあります。債券等の運用にあたっては、シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インクに運用指図に関する権限を委託します。基準価額（1万口当たり。以下本項において同じ。）が11,500円以上となった場合には、安定運用に切り替えた後、速やかに信託を終了させます。ただし、基準価額が11,500円以上となつてから信託を終了させるまでの市況動向や売却コスト等により、基準価額もしくは償還価額が11,500円以下となることがあります。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。ただし、安定運用への切り替え時に一時的に為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかる場合があります。</p>
主要運用対象	米ドル建ての債券（投資適格債券およびハイイールド債券）等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	元本超過額または経費等控除後の配当等収益のいずれか多い額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

米ドル建て好金利債券ファンド （為替ヘッジなし・ 早期償還条項付）2014-11

愛称：イールド・コレクション



第3期（決算日：2017年11月14日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「米ドル建て好金利債券ファンド
 （為替ヘッジなし・早期償還条項付）2014-11」は、
 去る11月14日に第3期の決算を行いました。ここに
 謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い
 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			受利益 回	者り	債組入比	券率	債先物比	券率	元残存本率
		税分配	み金騰落	中期騰落							
(設定日)	円	円	円	円	%	%	%	%	%	%	%
2014年11月28日	10,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
1期(2015年11月16日)	9,895	0	△105	△1.1	△1.1	93.5	—	—	—	—	77.0
2期(2016年11月14日)	9,362	0	△533	△5.4	△3.2	96.2	—	—	—	—	65.1
3期(2017年11月14日)	10,287	0	925	9.9	1.0	96.3	—	—	—	—	48.4

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、米ドル建ての債券（投資適格債券およびハイイールド債券）等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比	券率	債先物比	券率
		騰落	率				
(期首)	円		%		%		%
2016年11月14日	9,362	—	—	96.2	—	—	—
11月末	9,784	4.5	4.5	95.9	—	—	—
12月末	10,193	8.9	8.9	96.9	—	—	—
2017年1月末	10,072	7.6	7.6	94.4	—	—	—
2月末	10,035	7.2	7.2	95.1	—	—	—
3月末	10,010	6.9	6.9	94.2	—	—	—
4月末	9,957	6.4	6.4	94.4	—	—	—
5月末	9,931	6.1	6.1	96.5	—	—	—
6月末	10,015	7.0	7.0	93.2	—	—	—
7月末	9,944	6.2	6.2	94.1	—	—	—
8月末	9,992	6.7	6.7	96.5	—	—	—
9月末	10,211	9.1	9.1	97.0	—	—	—
10月末	10,269	9.7	9.7	96.1	—	—	—
(期末)							
2017年11月14日	10,287	9.9	9.9	96.3	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第3期：2016/11/15～2017/11/14）

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.9%の上昇となりました。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

米ドルが対円で上昇したこと、債券利子収入を獲得したこと、ブラジルの金融関連銘柄が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第3期：2016/11/15～2017/11/14）

◎債券市況

当期の投資対象国・地域の米ドル建て債券（投資適格債券およびハイイールド債券）市況を、JPモルガンEMBIグローバル指数およびJPモルガンCEMBIブロード指数で見ると、以下の通りとなりました。

- ・米国の金融政策に対する思惑等を背景に米国金利が上下する展開の中、原油価格が底堅く推移したことなどを背景に、当債券市況は上昇しました。
- ・期を通じて見ると、投資対象国・地域の米ドル建て債券市況は、各指数ともに上昇しました。また、スプレッド（米国国債に対する上乗せ金利）は各指数ともに縮小しました。

為替市況の推移
（期首を100として指数化）



◎為替市況

- ・2016年11月の米大統領選挙で勝利したトランプ氏が掲げる拡張的な財政政策がインフレや米国金利の上昇につながるとの観測から12月中旬にかけて米ドルが対円で上昇しました。その後は米大統領が掲げる政策の推進に対する不透明感や北朝鮮関連の地政学的リスクなどが材料視され、米ドルは対円で値動きの荒い展開となりました。
- ・期を通じて見ると、米ドルは対円で上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

◎組入比率

- ・現物債券の組入比率を高位に維持して運用を行いました。

◎為替

- ・米ドルが対円で上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

◎ポートフォリオ

- ・主要投資対象である米ドル建て債券等を高位に組み入れたポートフォリオを維持しました。
- ・組入銘柄については、原則継続保有としましたが、純資産が減少したことなどに伴い、期中に保有銘柄の一部売却などを行いました。
- ・前記の運用を行った結果、米ドルが対円で上昇したこと、債券利子収入を獲得したこと、ブラジルの金融関連銘柄が上昇したことなどがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2016年11月14日）

期末（2017年11月14日）

最終利回り	4.9%	➡	最終利回り	3.2%
直接利回り	6.3%		直接利回り	5.7%
デュレーション	1.9年		デュレーション	1.3年

- ・最終利回りは、原則として個別債券等における満期利回り（個別債券を償還日まで保有した場合の複利利回り）と、コール利回り（個別債券におけるコール（早期償還）日に早期償還されると仮定した場合の複利利回り）のうち、最も利回りが低いものを採用し、それらを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、原則として上記最終利回りを算出する際の償還日を用いて算出しています。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

（ご参考）

種別構成

2016年10月末

投資適格債券	49.66%
ハイイールド債券	50.34%
その他債券	0.00%

2017年10月末

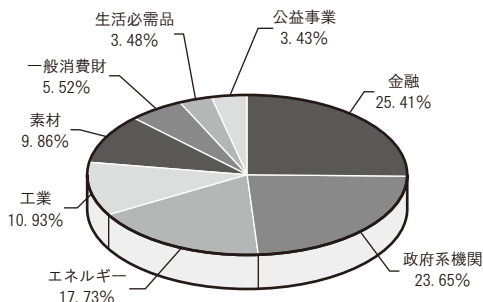
投資適格債券	59.49%
ハイイールド債券	40.51%
その他債券	0.00%

- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。
- ・種別構成は、シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク（シュローダー社）が独自に分類したものです。
- ・その他債券は、米国国債等の債券です。

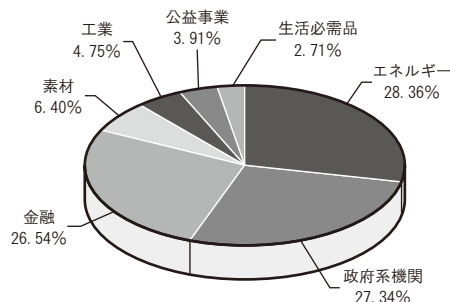
（ご参考）

業種別組入比率

2016年10月末



2017年10月末



- ・比率は現物債券評価額に対する割合です。
- ・業種は、債券の発行体企業について分類したものです。
- ・業種はBloombergのIndustry Sectorで分類しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、米ドル建ての債券（投資適格債券およびハイイールド債券）等を主要投資対象とし、主として利子収益の確保をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配金】

決算期	1万口当たり分配金（税込み）
第3期	0円

今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・新興国などを含む投資対象国・地域の米ドル建て債券市場では、米国の金融政策などの影響によるリスク回避の動きから短期的に調整局面に入る可能性に注意が必要だと見ています。しかしながら、一方では多くの主要新興国などでファンダメンタルズが改善していることから、相対的に金利水準が高い同債券市場には投資家からの資金流入が継続し、債券市況が下支えされると考えます。

◎今後の運用方針

- ・主要投資対象である米ドル建て債券等を高位に組み入れ、利子収益の確保をめざす方針です。
- ・信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、原則として償還まで保有するバイ・アンド・ホールド戦略を採用しています。同戦略は、各組入銘柄について、保有期間中の価格変動にかかわらず、償還日に向けて一定の価格に収斂していくことを期待したものです。銘柄選定に当たっては、信用リスクに配慮しつつ発行体のファンダメンタルズに照らして、相対的にクレジット・スプレッドが厚く、投資妙味があると見られる債券を主な投資対象としています。引き続き、現状のバイ・アンド・ホールド戦略を基本として、信託期間終了までに安定的な収益の確保をめざす方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2016年11月15日～2017年11月14日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 144	% 1.439	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× （期中の日数÷年間日数）
（ 投 信 会 社 ）	（ 76 ）	（ 0.758 ）	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 65 ）	（ 0.649 ）	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 3 ）	（ 0.032 ）	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（ 0.022 ）	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.004 ）	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	147	1.466	
期中の平均基準価額は、10,034円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年11月15日～2017年11月14日)

公社債

			買付額	売付額
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 2,670	千アメリカドル 1,863 (50)
		特殊債券	812	633 (700)
		社債券	4,178	8,074 (2,875)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年11月15日～2017年11月14日)

利害関係人との取引状況

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	—	—	—	955	140	14.7

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2017年11月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	額面金額	当 期			末			
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 22,000	千アメリカドル 22,860	千円 2,598,291	% 96.3	% 41.3	% —	% —	% 96.3
合 計	22,000	22,860	2,598,291	96.3	41.3	—	—	96.3

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当期末			償還年月日
			額面金額	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
国債証券	5.125 REPUBLIC OF 190411	5.125	600	611	69,518	2019/4/11
	5.875 KENYA REP 190624	5.875	460	471	53,619	2019/6/24
	6 LEBANESE REP 190520	6.0	675	663	75,439	2019/5/20
	6.75 CROATIA 191105	6.75	100	107	12,243	2019/11/5
	6.875 REPUBLIC OF 190527	6.875	1,060	1,123	127,657	2019/5/27
	7.375 COLOMBIA 190318	7.375	435	464	52,828	2019/3/18
	7.5 TURKEY 191107	7.5	625	671	76,347	2019/11/7
	7.75 UKRAINE 190901	7.75	575	604	68,733	2019/9/1
特殊債券	3.25 CORP FINANCI 190715	3.25	600	609	69,313	2019/7/15
	3.875 EX-IM BK IN 191002	3.875	780	800	90,968	2019/10/2
	5.875 EXPORT CRED 190424	5.875	600	616	70,072	2019/4/24
	6.5 BANCO NAC DE 190610	6.5	200	211	23,992	2019/6/10
普通社債券	2.5 KEB HANA BANK 190612	2.5	200	200	22,738	2019/6/12
	2.625 KOREA EAST- 181127	2.625	200	200	22,762	2018/11/27
	2.75 KOREA MIDLAN 190211	2.75	200	200	22,787	2019/2/11
	2.875 CBQ FINANCE 190624	2.875	200	198	22,573	2019/6/24
	2.875 KOREA HYDRO 181002	2.875	200	200	22,816	2018/10/2
	2.875 KOREA WESTE 181010	2.875	200	200	22,810	2018/10/10
	3 PETROBRAS GLO 190115	3.0	690	691	78,582	2019/1/15
	3.875 OIL INDIA L 190417	3.875	585	595	67,669	2019/4/17
	3.917 INDIAN RAIL 190226	3.917	200	203	23,145	2019/2/26
	4.25 CAIXA ECONOM 190513	4.25	300	304	34,643	2019/5/13
	4.25 TC ZIRAAT BA 190703	4.25	610	607	69,076	2019/7/3
	4.8 ST ENGINEERIN 190716	4.8	1,055	1,100	125,104	2019/7/16
	4.875 BANCO NAL C 181101	4.875	200	202	22,989	2018/11/1
	5.25 BANCO DE COS 180812	5.25	200	202	22,959	2018/8/12
	5.25 PETRONAS CAP 190812	5.25	785	825	93,810	2019/8/12
	5.25 YAPI VE KRED 181203	5.25	700	710	80,745	2018/12/3
	5.325 BANK OF CEY 180416	5.325	200	201	22,850	2018/4/16
	6.125 INVERSIONES 191105	6.125	740	794	90,262	2019/11/5
	6.25 FINANSBANK A 190430	6.25	700	720	81,849	2019/4/30
	6.525 CHN AOYUAN 190425	6.525	575	588	66,849	2019/4/25
	6.75 BANCO BRADES 190929	6.75	100	106	12,104	2019/9/29
	6.75 RAS LAFFAN L 190930	6.75	500	536	61,029	2019/9/30
	6.875 MARFRIG HOL 190624	6.875	600	619	70,412	2019/6/24
	7 REP OF ANGOLA N 190816	7.0	425	436	49,633	2019/8/17
	7.5 CREDITO REAL 190313	7.5	400	413	46,946	2019/3/13
	7.625 ECOPETROL 190723	7.625	890	966	109,907	2019/7/23
	8 MAJAPAHIT HOLDI 190807	8.0	100	109	12,451	2019/8/7
	8 PETROLEOS MEXIC 190503	8.0	1,055	1,145	130,223	2019/5/3
8.875 NATIONAL SA 180918	8.875	200	209	23,781	2018/9/18	
9.125 KAZMUNAIGAZ 180702	9.125	1,100	1,146	130,351	2018/7/2	
9.75 PETRO CO TRI 190814	9.75	580	617	70,207	2019/8/14	

銘	柄	当 期 末				
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	普通社債券 9.95 BANCO BMG S. 191105	9.95	600	646	73,481	2019/11/5
合	計				2,598,291	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年11月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 2,598,291	% 95.1
コール・ローン等、その他	132,969	4.9
投資信託財産総額	2,731,260	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（2,684,697千円）の投資信託財産総額（2,731,260千円）に対する比率は98.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=113.66円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年11月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,753,988,238
コール・ローン等	98,545,721
公社債(評価額)	2,598,291,189
未収入金	22,728,000
未収利息	32,197,149
前払費用	2,226,179
(B) 負債	55,681,523
未払金	25,516,091
未払解約金	10,911,954
未払信託報酬	19,197,696
未払利息	73
その他未払費用	55,709
(C) 純資産総額(A-B)	2,698,306,715
元本	2,622,930,592
次期繰越損益金	75,376,123
(D) 受益権総口数	2,622,930,592口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,287円

<注記事項>

- ①設定年月日 2014年11月28日
 設定元本額 5,418,725,957円
 期首元本額 3,531,289,457円
 元本残存率 48.4%

また、1口当たり純資産額は、期末1.0287円です。

- ②計算期間末における当ファンドの配当等収益額（184,283,804円）から経費（44,583,138円）を控除した額（139,700,666円）に、期末の受益権口数（2,622,930,592口）を乗じて期中の平均受益権口数（3,030,264,722口）で除することにより分配可能額は120,921,828円（1万口当たり461円）ですが、当期に分配した金額はありません。
- ③信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほか、当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<http://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

[お知らせ]

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。）の税率が適用されます。

○損益の状況（2016年11月15日～2017年11月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	184,283,804
受取利息	179,822,736
その他収益金	4,486,209
支払利息	△ 25,141
(B) 有価証券売買損益	193,114,213
売買益	231,402,181
売買損	△ 38,287,968
(C) 有価証券評価差損益	△ 30,037,275
(D) 信託報酬等	△ 44,583,138
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	302,777,604
(F) 前期繰越損益金	△225,150,187
(G) 解約差損益金	△ 2,251,294
(H) 計(E+F+G)	75,376,123
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H+I)	75,376,123

(注) (D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。